

「西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」に基づく平成29年度  
 における取組の実施状況について

西知多医療厚生組合では、平成27年度に「西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」を策定して温室効果ガスの排出抑制等を数値目標として示し、環境負荷の低減に向けた取組を推進しております。

なお、本計画における基準年度は平成26年度です。

1 実施状況

平成29年度の各施設における温室効果ガスの総排出量及びエネルギー等の使用量については、次のとおりです。

(1) 衛生センター

項目	平成29年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	平成31年度 までの目標値
温室効果ガス	795 t	875 t	△80 t	9.1%減	4%削減
上水道	12,395 m <sup>3</sup>	12,587 m <sup>3</sup>	△192 m <sup>3</sup>	1.5%減	4%削減
電気	925,355 kWh	920,595 kWh	4,760 kWh	0.5%増	4%削減
重油	131,411 ℓ	134,850 ℓ	△3,439 ℓ	2.6%減	4%削減
ガソリン	1,147 ℓ	2,114 ℓ	△967 ℓ	45.7%減	5%削減

(2) 公立西知多総合病院

項目	平成29年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量 (※1)	比較	実施状況	平成31年度 までの目標値
温室効果ガス	5,139 t	4,874 t	265 t	5.4%増	4%削減
上水道	42,559 m <sup>3</sup>	32,705 m <sup>3</sup>	9,854 m <sup>3</sup>	30.1%増	4%削減
電気	8,380,558 kWh	8,090,256 kWh	290,302 kWh	3.6%増	4%削減
都市ガス	469,039 m <sup>3</sup>	372,376 m <sup>3</sup>	96,663 m <sup>3</sup>	26.0%増	4%削減
ガソリン	2,611 ℓ	5,584 ℓ	△2,973 ℓ	53.2%減	4%削減

(※1) 平成27年5月開院のため、推計値とする。

### (3) 公立看護専門学校

項目	平成29年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	平成31年度 までの目標値
温室効果ガス	85 t	70 t	15 t	21.4%増	現状を維持
上水道	1,536 m <sup>3</sup>	1,361 m <sup>3</sup>	175 m <sup>3</sup>	12.9%増	現状を維持
電気	72,872 kWh	68,818 kWh	4,054 kWh	5.9%増	現状を維持
都市ガス	20,611 m <sup>3</sup>	14,414 m <sup>3</sup>	6,197 m <sup>3</sup>	43.0%増	現状を維持
ガソリン	1,462 ℓ	888 ℓ	574 ℓ	64.6%増	現状を維持

## 2 総括

西知多医療厚生組合では、従来の衛生センターに加え平成27年5月に開院した公立西知多総合病院（以下「病院」という。）と、公立西知多看護専門学校の3施設における環境負荷の低減に向けた取組を推進するため、「第2次西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

平成29年度の温室効果ガス総排出量について、衛生センターは目標を達成しましたが、病院及び看護専門学校については、達成していません。

各施設のエネルギー等の使用量については、衛生センターでは、処理量の減少及び効率的な運転に努めたことにより、上水道及び重油の使用量を目標値以下に抑えられました。しかし、夏の猛暑の影響で施設設備の冷却等で使用するため、電気量は増加となりました。

病院は、病院の本稼働によりガソリンを除くエネルギーの使用量が増加しました。ガソリン使用量の大幅な減少は、病院開院後、打合せ等の施設間の往来が減少したためです。

看護専門学校については、いずれも増加しました。ガソリン使用量の増加は、実習先の母体となる病院が移転したことにより、公用車の使用回数及び走行距離が増加したためです。また、電気量及び都市ガス使用量が大幅に増加したのは、空調機の使用が多くなったことによるもので、吸収式冷温水器の温度センサー等が故障し修理完了まで間欠運転ができなかったことと、猛暑等の気温の影響が主な原因です。

今後も、設備の適切な維持管理、設備更新の際の省エネルギー製品の選定等を通じて、省エネルギーの推進を図り、温室効果ガスの削減に努めます。